

オリンピック保育園の保護者の皆様へ

2023年度に当園が受審した福祉サービス第三者評価の結果についてお知らせいたします。

※以下は、福祉サービス第三者評価機関である樹学研データサービスが作成した評価結果の概要です。なお、評価結果の詳細につきましては、「とうきょう福祉ナビゲーションのホームページ（<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>）からご覧いただけます。

福祉サービス第三者評価結果概要

特に優れている点

3～5歳児においては異年齢保育が行われ、子どもたちの間では自分との違いを受け入れ関係性を深めている様子がうかがえます

園では3～5歳児は異年齢保育を行っています。運動会で異年齢でのグループでの競技種目を取り入れたり、散歩では3歳児が5歳児と手をつないでいます。日常の中で、年下の子どもは年上の子どもに頼ったり、あこがれたり、学んだりしています。年上の子どもは年下の子どもを手伝ったり、認めたりする姿が見られています。人間関係の基礎として、その入り口を学ぶ大切な時期に、園でいろいろな人と関わり、違いを受け入れて認め合うことの良さを経験して「みんな違っていいんだ」ということに気づいています。

日々の保育では季節の移り変わりや自然との関わりを、全身で感じることを大切にしています

園の周りは自然が豊富で、日々戸外に出かけています。近隣の野川で春の訪れを感じ、小山では木登り、また枯葉で見立て遊びを展開しています。3～5歳児の異年齢保育のグループでは雨だからこそ感じる五感を養いたいという目的で、雨が降った日は合羽をきて長靴をはいて散歩に出かける日もあります。歩きながら雨のしずくが葉に落ちる音に耳を澄ませています。また10月には5歳児が40分間かけて水生植物園まで歩いて行き、専門家や当園の職員と一緒にルーペを使い、花の観察や自然の不思議を楽しんでいます。

行事の準備や手伝いを通して園との一体感を
持ってもらうことで、保護者との信頼関係を深めています

保護者に積極的に園の行事に参加してもらえる体制作りをしています。園が目指す「子どもたちが夢中になって遊びこめる園庭作り」に賛同して保護者も協力しています。プールの設置や片付け、運動会の準備と片付けなど、保護者が自ら進んで手伝っています。また毎年、有志の保護者が主催するお祭り「おやしフェス」が開催されます。焼きそばなどを作り、輪投げ、射的などのゲームや2階のホールではバザーを催しています。1月には餅つきで活躍するなど、1年を通して園と保護者の協力体制ができています。

さらなる取り組みが期待される点

事業継続計画では各種災害への安全対応や事業継続の判断基準が示されていますが、さらに復旧に向けての内容の充実を期待します

園の事業継続計画（BCP）では地震、洪水、津波、火災等、多岐にわたった災害を想定し、園内での役割分担、避難、連絡など安全を守るための発生時の行動が示されています。そのうえで「事業継続に向けて」として、想定される被害状況に応じて保育業務継続の観点で何ができるかの判断と、どうすべきかについてが明記されています。また、災害発生30分以内の初動事項と当日の流れが、簡潔にわかりやすくまとまっています。これらに加えては、業務復旧に向けての工程について、さらに充実されると良いでしょう。

中・長期計画については、年度ごとなどで進行を区切り、進捗状況を具体的に振り返ることができるようにしてはかがいでしょう

中・長期計画は基本理念や基本方針を踏まえて、5年間にわたる園のビジョンとして、目指していく内容が示されています。それらの内容に連動して、単年度事業計画でも具体的な取り組み事項として記載しています。中・長期計画については、内容によっては年度ごとなどに進行を区切ってみてはかがいでしょう。そうすることで、目指すビジョンに対しての現在の進捗状況を具体的に確認することができます。また、これにより単年度事業計画も、当該年度としての位置付けが明確になり、取り組みの方向性の共有が一層強化されるでしょう。

多岐にわたって備えられているマニュアルをさらに整理・統合することで、実効性をより高めていくことを期待します

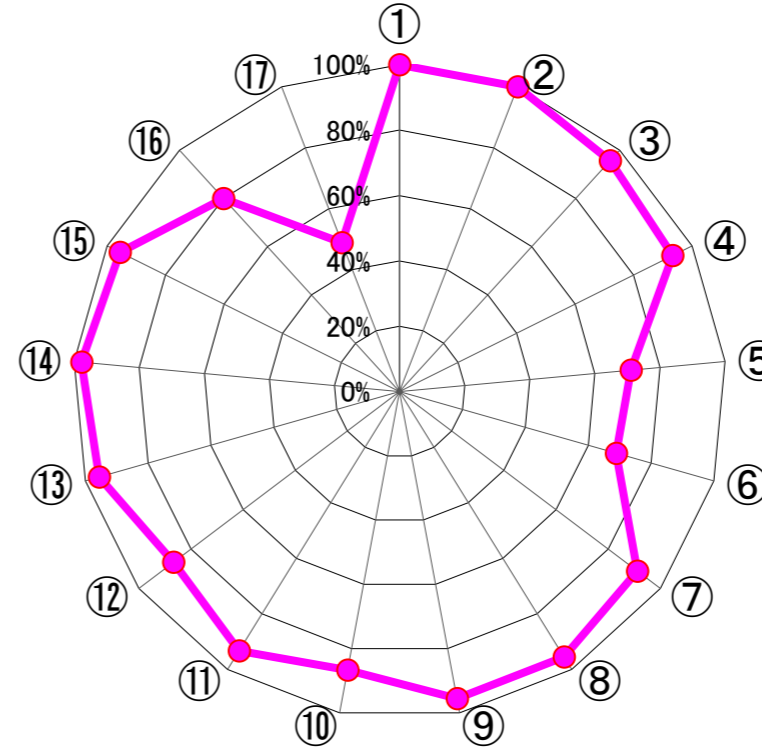
園のマニュアルは、健康、事故、災害、書類作成、情報収集などについて、それぞれについて多様な観点から作成されているため、多岐にわたって整備されています。例えば、健康面で言えば衛生管理、感染症対応、熱中症対策、光化学スモッグ対策等、一つひとつについてきめ細かく作成され、安心度の高い整備状況となっています。今後は、カテゴリごとに共通する内容の統合・整理などを行い、閲覧をさらにスムーズにしておくことで、園の蓄積してきたノウハウをより効率良く実践につなげていくことが期待できるでしょう。

利用者アンケート結果概要

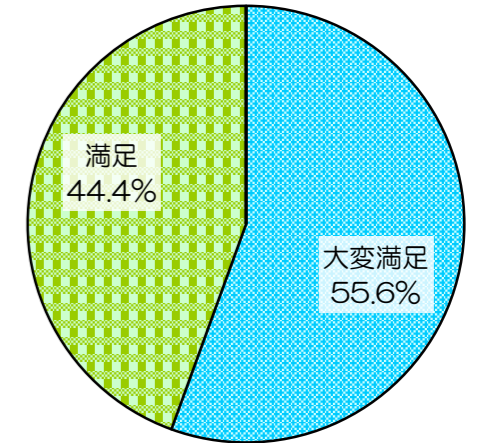
実施期間：2023年10月16日(月)～2023年10月30日(月) 回収率：50.0%

※11月7日到着分まで集計

質問別「はい」の回答率



園に対する総合満足度の結果



＜質問項目＞

- ① 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか
- ② 保育所での活動は、子どもが興味や関心をもって行えるようになっているか
- ③ 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか
- ④ 園生活で身近な自然や社会と十分関わっているか
- ⑤ 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか
- ⑥ 安全対策が十分取られていると思うか
- ⑦ 行事日程の、保護者の状況に対する配慮は十分か
- ⑧ 子どもの保育について、家庭と園に信頼関係があるか
- ⑨ 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか
- ⑩ 職員の接遇・態度は適切か
- ⑪ 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか
- ⑫ 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか
- ⑬ 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか
- ⑭ 子どもと保護者のプライバシーは守られているか
- ⑮ 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか
- ⑯ 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか
- ⑰ 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか

利用者アンケートの結果や福祉サービス第三者評価の結果の詳細内容は、「とうきょう福祉ナビゲーション」のホームページで公表します※。（福祉サービス第三者評価のページからご覧いただけます）
※結果が公表されるまでに時間がかかる場合があります



「とうきょう福祉ナビゲーション」URL
<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>
パソコンまたはスマートフォンでご覧ください

園からのコメント

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。温かいご意見が多く、私たちもとても励みになりました。これからも、皆様が安心して保育園に通えるように、心を大切に保育していきます。イベントや園庭作りなど、今後も一緒に楽しんでいきたいと思っています。お子様を中心に、保護者様と私たちが協力して、より良い未来へ進んでいきましょう。
園長 千葉明子

【福祉サービス第三者評価 評価機関】

株式会社学研データサービス R&C評価事業部
(認証評価機関番号 機構05-149)

